

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2016年6月2号

大分市議会第2回定例会

一般質問要旨を紹介します。

6月13日～27日まで開催されました。私は、一般質問で、立憲主義、熊本・大分地震、就学援助制度、サイクリングロード整備について質問しました。

憲法を戦争と独裁・抑圧の道具への置き換え

る時代逆行の企ては許されない



●福間議員—「自民党改憲案」は、憲法9条2項を削除し「国防軍」の創設、基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」と規定した憲法97条を

まるまる削除し、「憲法によって権力を縛る」という立憲主義を全面的に否定。世界に誇るべき日本国憲法を、およそ憲法と呼べない戦争と独裁と抑圧の道具へと置き換える、途方もない時代逆行の企ては絶対に許してはならない。立憲主義についての基本認識は

総務部長—立憲主義とは、法の支配の原則にのっとり、権力が行使されるべきであるという政治原則。行政は憲法の規定に従い、執行されるものと認識している。今後とも十分な議論により国民の合意形成を図ることを期待している。

被災者に寄り添った救援・復興支援を



●福間議員—熊本・大分地震を経験し大分市の避難所への対策をどう考えているのか。

総務部長—今後ひとつ、ひとつの課題を検証し、具体的な対応策について

(再質問する福間) 地域防災計画や避難所運営マニュアルに反映させ、避難所対策の充実に努める。

●福間議員—大分県内でも建物被害総数は、3,234棟、全壊3棟、半壊106棟、一部損壊3,125棟(6月13日現在)と被害が大きくなっている。国の被災者生活再建支援制度は「全壊等や大規模半壊」が対象であり、半壊の方々は対象にならない。柔軟な判定を行うことや、支給額を500万円まで引き上げることを国に要求すること。

福祉保健部長—被災地の実態に鑑み被災者生活再建支援金の支給適用要件の緩和、被災住宅の応急修理の上限額を

引き上げるなど、全国市長会を通じ要求している。

★一部損壊については、修理・修繕を住宅リフォームで実施できるよう要望しました。

●福間議員—川内原発をただちに停止、伊方原発は再稼働中止を要求すること。

企画部長—現時点では、国、電力会社に稼働停止、再稼働中止の要請は考えていないが、6月8日の全国市長会で「原発の安全・防災対策の充実強化」が決議された。国はこうした声を十分に受け止め、国の責任で説明責任を果たし、安全確保に努めていくべきと考えている。

就学援助制度を利用しやすいように改善を

●福間議員—入学準備金は、入学準備に間に合うよう支給時期の前倒しをおこなうこと。

教育部長—今後他都市の状況を調査研究していきたい。

★入学準備金は、小学校では20,470円、中学校では23,550円となっており、実態に合うように引き上げを要望しました。

●福間議員—医療提供は、治療が必要なとき利用できるようにすること。また学校病にアレルギー疾患なども対象にすること。

教育部長—今後も児童・生徒の実情に応じた実施がされるよう取り組んでいく。ぜんそく等アレルギー疾患を追加するなど、県を通じ国に要望していく。

佐賀関サイクリングロードの整備を

●福間議員—佐賀関サイクリングロードの整備・維持管理の方針について

都市計画部長—今後、県と工程の調整を図りながら整備していく。

土木建築部長—排水柵設置、舗装修繕、水たまり解消など適正な維持管理に努める。また夜間照明については「大分市道照明施設設置基準」に基づき、設置について検討していきたい。



議会中も野党統一候補と比例での日本共産党の躍進を訴える福間。

選挙区は「候補者名」で比例代表は「政党名」で書きます。

暮らし・地域の要求をお寄せ下さい

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

